

OITAえんむす部 結婚おうえん団

Visual Identity Guidelines

VIマニュアル

VI マニュアルの活用にあたって

VI(ビジュアル・アイデンティティ)システムは、統一的な視覚表現を展開することによって、ブランドイメージを社会や人々により効率よく浸透させ、その確立を図るためのものです。

この「VI マニュアル」には、シンボルマークをはじめとするロゴタイプ、ブランドカラー等の基本的なアイデンティティ要素と、それらを各アイテムに展開していく場合のベーシックな使用基準が示されています。

「OITA えんむす部 結婚おうえん団」のVIをより効率よく確立するために、「VI マニュアル」の使用基準に従って、これらのデザインをすべて統一して展開します。実際のデザイン展開に際しては、「VI マニュアル」の使用基準に沿って、できるだけ正確に再現してください。

使用管理規定

●色

カラーで使用する場合には色を変えないでください。

●禁止事項

以下の場合には、シンボルマークを使用することはできません。

- 主として、特定の政治、思想、宗教、募金等の活動と結びつけて使用する場合
- 法令や公序良俗に反するような方法で使用する場合
- 不当利益を上げることが目的となるような使用となる場合
- その他、大分県が不適切と判断する場合

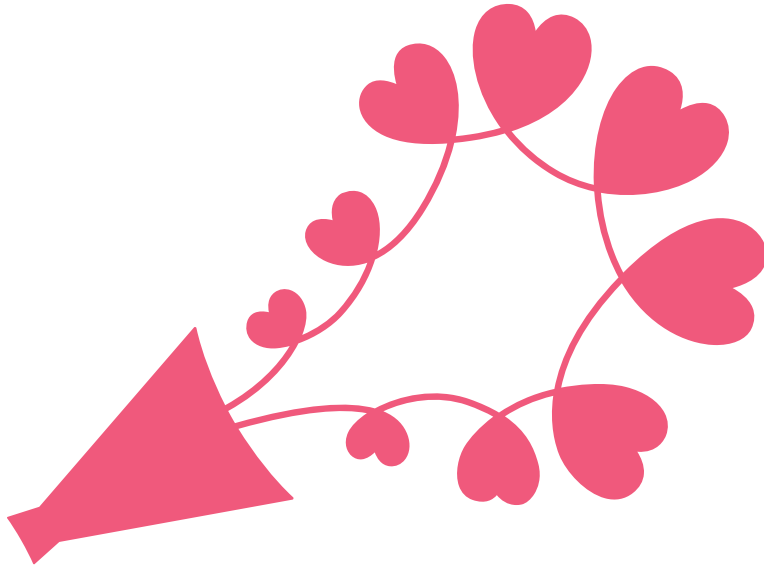
●本マニュアルは、今後必要に応じて、ご利用者の許諾なく改訂させていただく可能性があります。

Basic Standards

基本デザイン要素

シンボルマーク

幸せを連想させる“花束”や応援を連想させる“メガホン”、お祝いのパーティなどを連想させる“クラッカー”のイメージを兼ね備えたシンボルマークです。繋がっているハートは、ひとつの“幸せ”が、新しい“幸せ”を生み、連鎖している様子を表現しています。それは全ての社員の“幸せ”につながり、企業自体の“幸せ”につながります。



ロゴタイプ

OITAえんむす部 結婚おうえん団

ブランドカラー



○プロセスカラー M80% Y30%
○RGB カラー R233 G83 B119
○オフセット製版インク DIC76

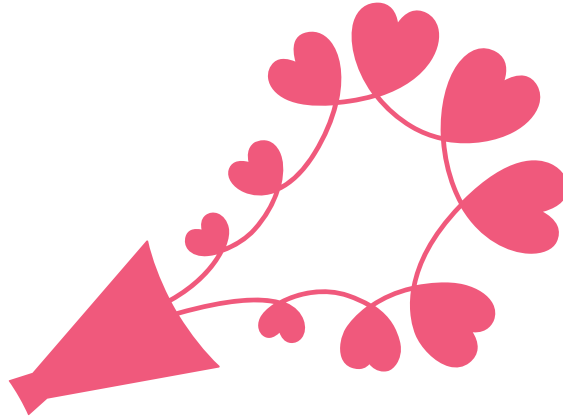


○プロセスカラー C80% M90%
○RGB カラー R81 G49 B143
○オフセット製版インク DIC224

Basic Standards

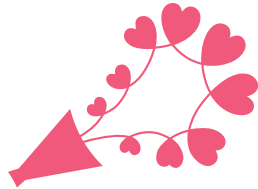
シンボルマーク & ロゴタイプ

基本の組み合わせ



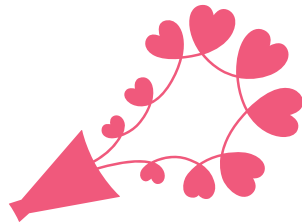
OITAえんむす部 結婚おうえん団

組み合わせ
パターン 1



OITAえんむす部 結婚おうえん団

組み合わせ
パターン 2



OITAえんむす部
結婚おうえん団

最小限度

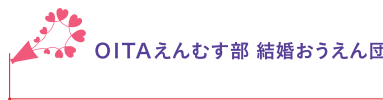
マークのみ



12mm
(34pixel)



22mm
(62pixel)



50mm
(142pixel)



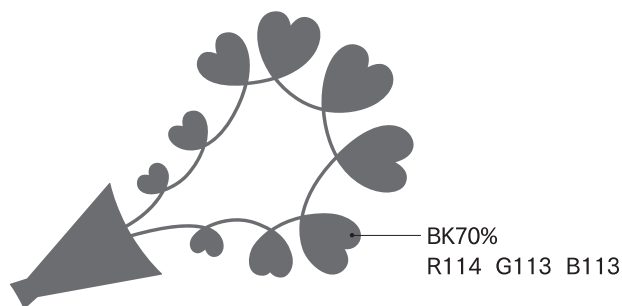
28mm
(79pixel)

Basic Standards

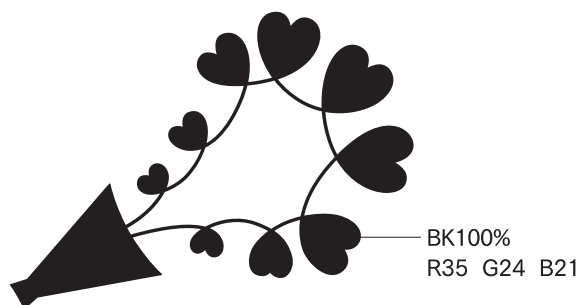
シンボルマーク & ロゴタイプ

モノクロバージョン

ブランドカラーの「ピンク」が使用できない場合、表示の1色(単色)のタイプをご使用ください。優先的に、シンボルマークがグレー(BK70%)を使用してください。グレーが認識できないような場合のみ、BK100%を使用してください。これ以外はいかなるタイプも、その使用は認められません。



OITAえんむす部 結婚おうえん団



OITAえんむす部 結婚おうえん団

反転

シンボルマークやロゴタイプの背景の色は、明るい白が最適ですが、どうしても黒やグレー、有彩色など、視認性の低い場所にロゴを配置しなければならないときには、ロゴを白抜きにする反転バージョンをご使用ください。

右側の例で使用しているグレーの背景が、コントラストとして許容できる最低ラインです。これ以上明るい背景は、細部がぼやけたり、よく見えなくなるため認められません。

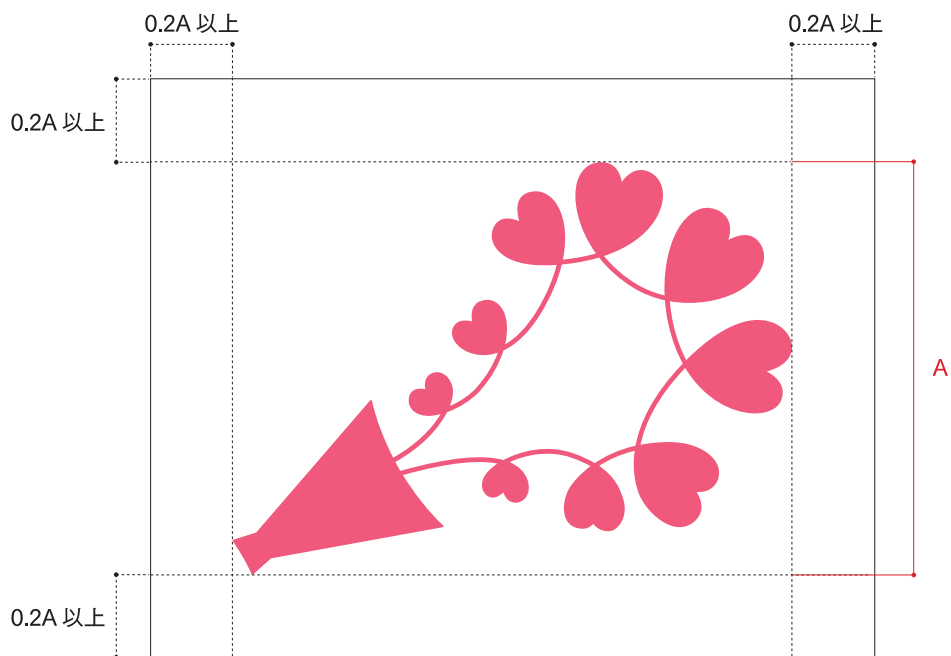


Basic Standards

アイソレーション範囲 1

シンボルマークやロゴタイプは、その周囲に邪魔になったり目を引くようなデザインの・視覚的要素が全くない場所で、最も鮮明に見えます。周りに十分なスペースがあればあるほど効果的です。

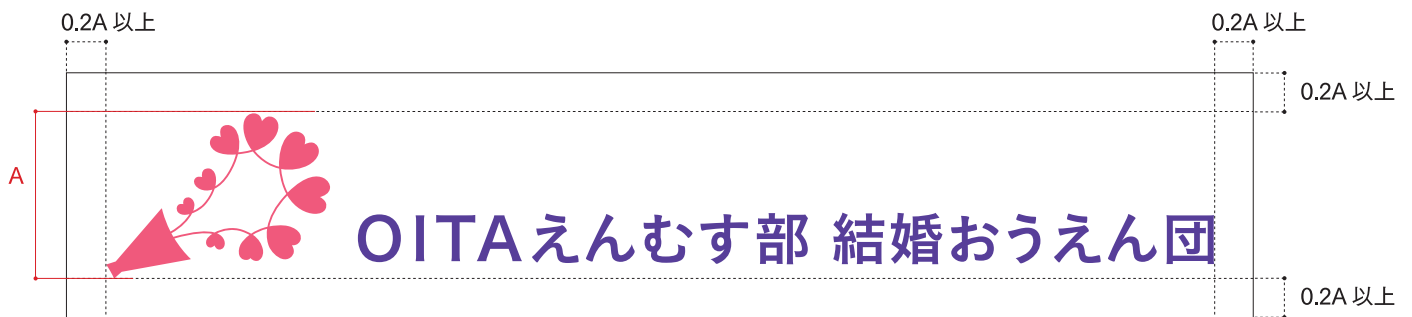
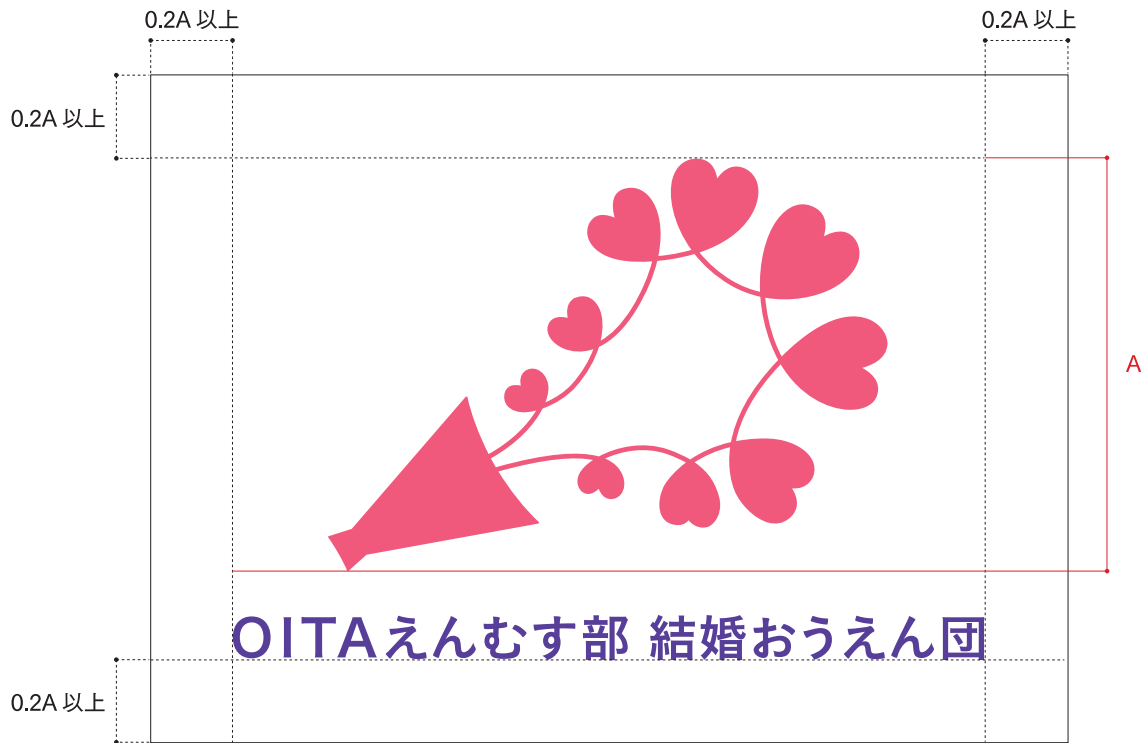
ここではシンボルマークやロゴタイプがその機能を発揮するのに最小限必要な相対的スペースを設定しました(図にAを基準にして表示)。特例を除いては、これより内側に、いかなるマークや文字も入れないようにご注意ください。



シンボルマークの縦幅を「A」とした場合、天地左右「0.2A」以上のスペースを確保してください。

Basic Standards

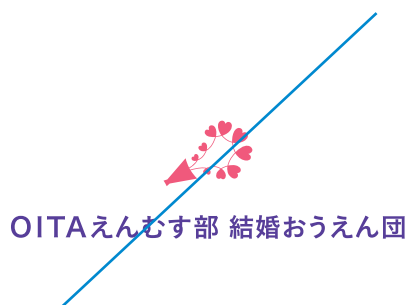
アイソレーション範囲 2



Basic Standards

使用禁止例

シンボルマークとロゴタイプは、正しく使用されることによってその機能を十分に発揮し、イメージを正しく伝えることができます。下記の例のような誤った使用は避けてください。



構成要素の大きさを変えて組み合わせるはいけません



いかなる変形や回転をしてはいけません



ロゴマークを切って表示してはいけません



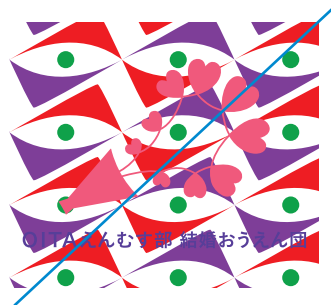
表示色を変えてはいけません



他のデザイン要素を加えて表示してはいけません



識別性を損なうカラー表示をしてはいけません



煩雑な背景（パターン・写真など）に配置してはいけません



陰影をつけて表示してはいけません



ふちどりで表示してはいけません